

第209回 全経簿記検定試験 上級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [予想配点：丸数字は点数を示す、合計 56 点]

問 1 不利差異の場合には△をつけること

X補助部門費：予定配賦率 [④ 12.5] 円／単位 配賦差異総額 [④ △200] 円

Y補助部門費：予定配賦率 [④ 29.9] 円／単位 配賦差異総額 [④ 2,640] 円

問 2

A製造部門費：予算額 [④ 477,600] 円 予定配賦率 [④ 23.88] 円／時間

B製造部門費：予算額 [④ 767,000] 円 予定配賦率 [④ 30.68] 円／時間

問 3 A製造部門

配賦差異総額 [③ 41,170] 円

予算差異 [③ 12,955] 円

操業度差異 [③ 28,215] 円

問 4 B製造部門

	借方科目	金額	貸方科目	金額
⑤	仕掛品	736,320	B製造部門費	736,320

問 5

原価管理の観点から改善するためには、補助部門において管理可能な差異のみを把握する必要がある。したがって、変動費は実際用役消費量、固定費は用役消費能力で配賦する複数基準配賦法を採用するのが望ましい。⑩

問題 2 [予想配点：丸数字は点数を示す、合計 29 点]

問 1 期末材料 [㊦ 108,600] 円

問 2

借方科目	金額	貸方科目	金額
売 上 原 価	215,480	直接材料費差異	123,880
㊦ 製造間接費差異	5,000	直接労務費差異	96,600

問 3

売 上 原 価 [㊦ 19,994,360] 円

期 末 製 品 [㊦ 2,665,440] 円

期 末 仕 掛 品 [㊦ 1,536,480] 円

問題 3 [予想配点：文章 1 つにつき㊦、合計 15 点]

- ① 原価は、経済価値の消費である。

- ② 原価は、経営において作り出された一定の給付に転嫁される価値である。

- ③ 原価は、経営目的に関連したものである。

- ④ 原価は、正常的なものである。
